



企画展

植物画家 太田洋愛
 牧野富太郎に憧れた

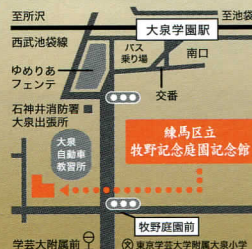
太田洋愛 タマンゴ(バラ) 1981年 個人蔵

前期 植物画やスケッチを年代順に
 2014年 2月1日(土) ~ 3月10日(月)

後期 バラ、ラン、サクラの植物画を中心に
 2014年 3月15日(土) ~ 3月31日(月)

- 開園時間：午前9時～午後5時 (ただし、企画展は午前9時30分～午後4時30分)
- 入場無料
- 園芸相談：午前9時30分～12時30分、午後1時30分～4時30分
- 休館日：火曜日 ★2月11日(火・祝)は開館します。
 (火曜日が祝休日にあたる場合は開館し、その直後の祝休日ではない日を休館)、年末年始
- 所在地：練馬区東大泉6-34-4
- ★企画展についてのお問い合わせ先 TEL:03-6904-6403 FAX:03-6904-6404
 E-mail: makinoteien@mist.ocn.ne.jp

入場無料



交通案内 ★駐車場はございません

■西武池袋線
 大泉学園駅下車(南口) 徒歩5分

■JR中央線、西武新宿線から
 バスで「学芸大付属前」下車、徒歩3分

主なバス経路

- 荻窪駅/上井草駅から、西武バス「長久保行」
- 西荻窪駅/上石神井駅から、西武バス、関東バス「大泉学園行」
- 吉祥寺駅/武蔵関駅から、西武バス「新座栄行」
- 「都民農園セコニック行」他

練馬区立
 牧野記念庭園記念館

牧野記念庭園は文化庁登録記念物(遺跡および名勝地)です

企画展内容

“植物画を描くということは、労多くしてむくわれることの少ない仕事であるが、たいへん重要な仕事であるから頑張るように”

この言葉は、日本を代表する植物図鑑である『牧野日本植物図鑑』(1940年)を著した植物学者の牧野富太郎まきの ともたろうが、1929(昭和4)年頃、旧満州(現中国東北部)に暮らした太田洋愛おおた ようあい(1910-1988)という一人の植物画家に送った励ましの言葉です。牧野富太郎は太田洋愛のもとにケント紙、丸ペン、墨、面相筆を送り、手紙には植物を描く上での注意事項を書き添えました。牧野富太郎との交流がきっかけとなって植物画の道へと進んだ太田洋愛は、終戦を経て1948(昭和23)年に帰国、その後『原色日本林業樹木図鑑』(1964年)、『原色日本のラン』(1971年)、『日本桜集』(1973年)など、主要な図鑑類の原図を手がけていきます。

1970(昭和45)年には日本ボタニカルアート協会の創立に携わり、戦後日本における植物画の普及にも尽力しました。

本展では、牧野富太郎を尊敬し続けた植物画家の太田洋愛が描いた貴重な植物画やスケッチなど、未公開作品を中心に約100点(前期と後期で展示入替)を紹介します。



太田洋愛 ラッカセイ 1954年



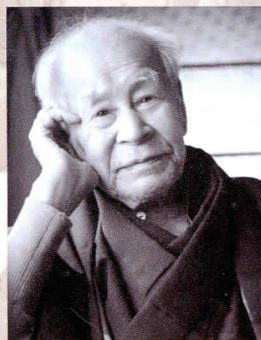
太田洋愛 アネモネ



太田洋愛 スーパービエンス(ラン) 1980年

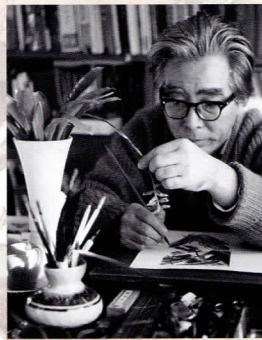


太田洋愛 センダイハギ 1980年
いずれも個人蔵



牧野富太郎 (1862-1957)

1862(文久2)年4月24日に高知の佐川村に生まれる。生涯に発見・命名した植物は1,500種類以上、採集した植物は約40万点、研究のために収集した書籍は約4万5千冊にのぼる。1926(大正15)年に渋谷から北豊島郡大泉村(現練馬区立牧野記念庭園)に移り住み、1957(昭和32)年に満94歳で没するまでの約30年をこの地で過ごした。



太田洋愛 (1910-1988)

1910(明治43)年、愛知県に生まれ、旧制中学校在学中に洋画を学ぶ。1929(昭和4)年、旧満州(現中国東北部)に渡り、満州教育専門学校植物学教室にて、後年ハフ博士として知られる大賀一郎(1883-1965)のもとで植物画の制作をはじめ。終戦後に帰国、『原色日本のラン』(1971年)、『原色日本産ツツジ・ジャクナゲ大図譜』(1981年)など数多くの図鑑や教科書に植物の図を描き活躍した。

ボタニカルアート講座

- [講師] 石川美枝子氏(植物画家)
[日時] 2月5日(水)、2月11日(火・祝)、
2月19日(水)、2月26日(水)
いずれも午前10時から正午まで
[内容] 本格的なボタニカルアート(植物画)の描き方を学びます。
[材料費] 1,200円
[持ち物] 透明水彩絵具、水彩筆など
[定員] 16名(4回すべてに参加できる方)
[申込] 事前申込制(抽選)
[場所] 練馬区立牧野記念庭園 講習室

★申込方法★

郵便往復はがきの往信用裏面に郵便番号・住所・氏名・電話番号・イベント名を、返信用表面に郵便番号・住所・氏名を明記して、1月22日(必着)までにお申し込みください(〒178-0063 東京都練馬区東大泉6-34-4 練馬区立牧野記念庭園記念館)。

※講座の対象は原則として区内在住・在勤(在学)の方です。区内在住でない方は勤務先や学校の住所を記入してください。お申込みは一人一週に限りです。



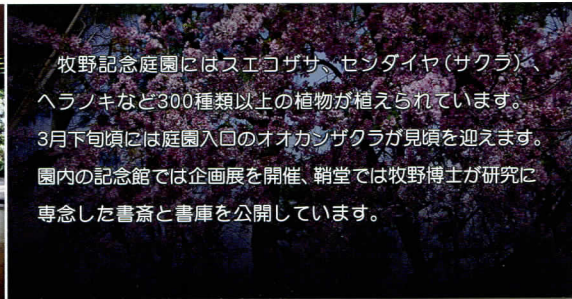
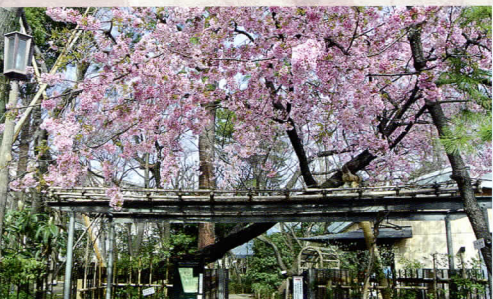
トーク・イベント

- [講師] 浅野ひさよ氏(植物画家)
[日時] 3月23日(日)午後2時30分より30分程度
[内容] 太田洋愛画伯の最初の弟子である植物画家の浅野ひさよ氏に、当時の思い出や描き方についてお話を伺います。
[参加] 無料(申込不要、定員20名)
[場所] 練馬区立牧野記念庭園記念館 企画展示室



ギャラリー・トーク 学芸員による展示解説

- [日時] 3月16日(日)、3月29日(土)
いずれも午後2時30分より20分程度
[参加] 無料(申込不要、定員20名)
[場所] 練馬区立牧野記念庭園記念館 企画展示室



牧野記念庭園にはスエゴザサ、センダイヤ(サクラ)、ヘランキなど300種類以上の植物が植えられています。3月下旬頃には庭園入口のオオカンザクラが見頃を迎えます。園内の記念館では企画展を開催、鞘堂では牧野博士が研究に専念した書齋と書庫を公開しています。